

sapporo
education and culture hall
news

raku

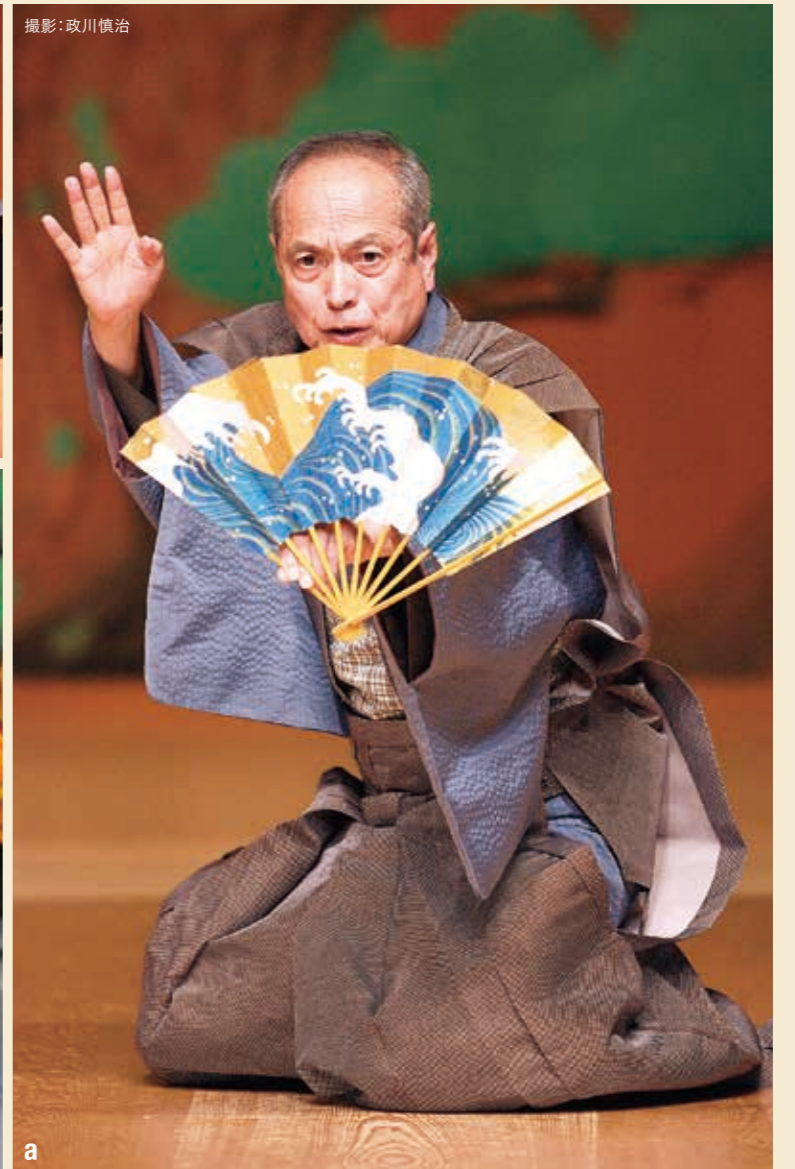
KYOBUN
40th
ANNIVERSARY

【特集】

札幌市教育文化会館

開館40周年記念事業

野村万作萬齋狂言会 人形浄瑠璃文楽 伝統芸能創生プロジェクト「祝」 教文40周年まつり



撮影：政川慎治

a

※本公演の配役は、山伏：深田博治 鬼茸：野村萬齋となります。



b



c

撮影：松本久木



撮影：青木信二



撮影：政川慎治



g



f



h

開館当時の札幌市教育文化会館(1977年撮影)

f g

教文40周年まつり

午前の部は、親子で楽しめる「ママと子どものはじめての音楽会」を開催。オペラの名曲や親しみやすい音楽がいっぱいの、0才のお子様も入場できる音楽会です。午後の部は、さっぽろ人形浄瑠璃芝居ありり座による人形浄瑠璃公演を開催。「二人三番叟」「祝い唄」をはじめとする演目を上演します。

2017年7月23日[日] 小ホール

午前の部 / 11:00~12:00
午後の部 / 13:30~14:30

無料(要整理券/全席自由)

※参加整理券は席数に限りがあるため、既に配布を終了している場合がございます。あらかじめご了承ください。

限定グッズ販売や
オリジナルグッズプレゼントも
あります。

h

40周年記念
教文アートコレクションアーカイブ写真展

教文には、常に輝きを放ち続けるアート作品がコレクションされ、館内外で展示をしています。公開が叶わない作品も一部あります。このたびの40周年を記念し、観覧していただく機会としました。また、建築途中やオープン間もない頃の写真をはじめとした資料などもご紹介します。

2017年7月8日[土]~7月17日[月・祝]

9:30~17:00
4階ギャラリー(入場無料)

[40周年記念 古典芸能公演]

a b d

野村万作萬齋狂言会

人間国宝・野村万作と野村萬齋による華やかな狂言舞台を上演します。

2017年11月9日[木]

大ホール
18:30開演(開場17:45)
演目/「奈須与市語」「悪太郎」「茸」
料金/全席指定 6,000円(ホールメイト 5,500円)
U-22割 3,000円
(22歳以下限定、教文プレイガイドのみ取扱い)
一般発売 / 8月10日(木)

c

伝統芸能
創生プロジェクト「祝」

能楽師の金剛流、豊島晃嗣氏による「祝」をテーマに古典芸能を紹介します。

2017年11月8日[水]

大ホール
19:00開演(開場18:30)
料金/全席指定 4,000円(ホールメイト 3,500円)
U-22割 3,000円
(22歳以下限定、教文プレイガイドのみ取扱い)
一般発売 / 8月10日(木)

e

人形浄瑠璃文楽

ユネスコ世界無形文化遺産にも指定されている日本の代表的な伝統芸能である文楽。「心中二題」、世話物の名作を上演します。

2017年10月11日[水]

大ホール
昼の部 13:30開演(開場13:00)
演目/「桂川連理柵(かつらがわれんりのしがらみ)」
夜の部 18:30開演(開場18:00)
演目/「曾根崎心中(そねざきしんじゅう)」
料金/全席指定 5,000円(ホールメイト 4,500円)
U-22割 3,000円
(22歳以下限定、教文プレイガイドのみ取扱い)
一般発売 / 7月15日(土)



40th ANNIVERSARY

札幌市教育文化会館は今年度で開館40周年を迎えます。記念事業として「野村万作萬齋狂言会」をはじめ、「人形浄瑠璃文楽公演」、能楽公演「伝統芸能創生プロジェクト「祝」」など、豪華な古典芸能公演を予定しています。この他にも「教文40周年まつり」として、札幌市で活躍する団体を招き、親子で楽しめる音楽会や人形浄瑠璃公演を開催します(要整理券/入場無料)。みなさまのご来場をお待ちしております。

40周年を記念して、伝統芸能の上演や、入場無料で楽しめる「教文40周年まつり」を開催。
人間国宝・野村万作の名演、人形浄瑠璃の名作など、豪華な舞台とともに40周年を祝いましょう！

札幌市教育文化会館
40周年記念事業

伝統芸能創生プロジェクト「祝」(11/8) & 野村万作萬齋狂言会(11/9)
7月15日[土]10時より両日セット券(8,000円)を先行発売!

詳しくは教文ホームページをご覧ください。

孝文演劇フェス 2017

KYOBUN ENGEKI FESTIVAL

教文演劇フェスティバル 2017

2017. 7.22 [土] ▶ 8.27 [日]

テーマ

「10」



教文が毎年夏に開催する演劇の祭典、通称「演フェス」。演劇を観たことがない人でも十分に楽しめる「短編演劇祭」や、演劇への理解がより深まるワークショップなど、盛り沢山の内容で、皆様をお待ちしております！

教文短編演劇祭 2017

予選 8月12日 [土] Aブロック14:00~16:00、Bブロック18:00~20:00

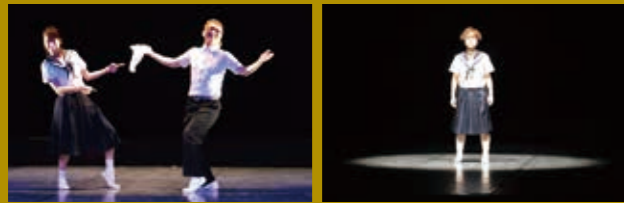
決勝 8月13日 [日] 14:00~17:00

(チケット) 予選 各1,000円(当日 1,200円)
決勝 1,600円(当日 1,800円)(教文ホールメイト 1,100円(当日 1,300円))

(取扱) 教文プレイガイド 011-271-3355 大丸プレイガイド 011-221-3900
ローンチケット 0570-000-777(Lコード 12754)

今年で10周年！テーマは「10」！！
20分間の熱いバトルに大注目

書類審査を勝ち抜いた劇団やユニット全8団体がチャンピオンを目指して札幌に集結！「10」をテーマとした20分の短編演劇作品で競い合い、決勝には2年連続のチャンピオンとなった東海連合が待ち受ける…！今年も王座防衛となるか、それとも新チャンピオン誕生となるか。今年で10回目となる短編演劇祭をお楽しみに！！賞金10万円を手にする劇団は果たして…？



昨年、優勝した東海連合「そして、彼女は」より

ワークショップのお申込み・お問合せ：札幌市教育文化会館 事業課 TEL 011-271-5822 FAX 011-271-1916 [電話受付時間 9:00~17:00] 第2第4月曜日

ワークショップ

初心者が受けても楽しい短編戯曲ワークショップ

7月22日 [土]、8月5日 [土]、8月27日 [日] 14:00~19:00

お芝居の台本を書いてみたいと思っている方、お芝居の台本の書き方を知りたいと思う方、このワークショップで誰でも気軽に書けるようになります。難しくはありません。気軽に参加してみてください。

- 講師 / 清水友陽 + 日本劇作家協会北海道支部
- 参加費 / 2,000円(3日分)
- 会場 / 練習室B(7/22、8/5)、練習室A(8/27)
- 定員 / 10名(先着順) ※7/1(土)より募集開始

演劇ワークショップファシリテーター養成体験講座

8月3日 [木] ~ 8月5日 [土]

演劇ワークショップファシリテーターを目指す方向けの実践的な講座を開催します。

- 講師 / すずき こーた(演劇デザインギルド理事、ワークショップファシリテーター、俳優) 恵志 美奈子(世田谷パブリックシアター)

[同時開催] 8月4日 [金]、8月5日 [土]

上記養成講座内で、小学生向け演劇ワークショップを開催します。
※詳細は講座、ワークショップ募集チラシ、当館ホームページにてご確認ください。

ARアプリをインストールして、教文コンテンツをもっと楽しもう！

演劇フェスティバルプロモーション動画を視聴しよう！

ARアプリ「COCOAR2」をダウンロードし、「演フェス」ロゴをスキャンすると演劇フェスティバルプロモーション動画を視聴することができます。※7月上旬配信開始

STEP 1 無料アプリダウンロード

STEP 2 アプリ起動

STEP 3 該当部分をスキャン

【COCOAR2】と検索

右側のマーカー(上の演フェスロゴでもOK)付近をスキャンすると動画がご覧いただけます！

※Wi-Fiなど、通信環境が必要です。ご使用端末の機種・バージョン等によってはご覧いただけない場合がございます。
※動画再生の際には音量にご注意ください。また、周囲の方のご迷惑にならないようご利用ください。



上記「演フェス」ロゴを「COCOAR2」でスキャンしてみよう。

当館では、大衆芸能の一つである「喜劇」を楽しむ「教文13丁目笑劇場」事業を行っております。誰もが親しめる「笑いの文化」を育成、発信するため、「体験喜劇ワークショップ」の講師砂川一茂さんを招き、小学校から高校生を対象とした体験喜劇ワークショップを開催します。個々の個性を大切にしながら、アドリブ重視の自由な雰囲気の中で、とにかく実践！とにかく動く！とにかくギャグを試してみる！誰でも楽しく、簡単に出来る「体験喜劇」の魅力を、存分に味わっていただきます。



[講師]
砂川 一茂

放送作家。教文13丁目笑劇場一座講師。1959年、大阪市出身。札幌～神戸・大阪などを中心に「笑いと癒し」をテーマにした、誰にでも簡単に参加出来る「体験喜劇」の普及に取り組む。

- 開催期間 / 平成29年7月27日(木)~7月29日(土)の3日間
- 時間 / 13:30~15:30
- 対象 / 小学生から高校生まで
- 定員 / 20名(先着順)
- 受講料 / 3日間で1,000円
- 応募方法 / 電話またはFAX(9:00~17:00) TEL.011-271-5822 FAX.011-271-1916
- 申込開始 / 平成29年6月14日(水)9時より

夏休み子ども体験喜劇

小・中・高校生対象

平成29年7月27日(木)~7月29日(土)開催
講師 / 砂川一茂(放送作家)



ワクワクワークショップ

子どもたちが

芸術文化に触れる貴重な体験

札幌市教育文化会館では、市民のみなさんが伝統芸能や音楽、ダンスなど様々なジャンルの芸術文化に触れる機会として、ワークショップ・講座を開催しています。みなさまの参加をお待ちしております。

能楽入門ワイタシヨップ

小・中学生のための

平成29年7月31日(月)・8月1日(火)開催
講師 / 小倉健太郎(能楽師シテ方宝生流)

講師に能楽師の小倉健太郎氏(シテ方宝生流)をお招きして行う、小・中学生対象の本格的な能楽入門ワークショップです。「能って何？」という初歩の段階から、わかりやすく紹介します。能の有名な演目である「狸太」を題材に、演目の解説や能独特の発声である謡を体験したり、仕舞という能の所作や型を練習していきます。2日目の最終日には、練習した成果を発表するミニ発表会を予定。子どもたちが能楽師を体験できる、貴重なワークショップです。実際に謡って舞うことに触れていただきます。



[講師]
小倉 健太郎

18代宗家宝生英雄、19世宗家宝生英照に師事。平成9年「能」にて初シテを勤め、これまでに「石橋」「道成寺」「乱」「翁」を披く。また、自身の同門会「輝春会」を主宰し、指導にあたっている。

- 開催期間 / 平成29年7月31日(月)・8月1日(火) 全2日間
- 時間 / 13:30~15:30
- 対象 / 小学3年生から中学3年生まで ※保護者見学可。
- 定員 / 20名(先着順) ■受講料 / 2日間で1,000円
- 応募方法 / 電話またはFAX(9:00~17:00) TEL.011-271-5822 FAX.011-271-1916
- 申込開始 / 平成29年6月14日(水) 9時より

ワークショップへのお問合せ・お申込み



札幌市教育文化会館 事業課

TEL 011-271-5822

FAX 011-271-1916

休館日: 第2、第4月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

弦巻 啓太から指名→

さっぽろ 演劇人

No.010

こばやし
小林なるみ

多様な引き出しを
たくさん持った役者でいたい

小林なるみ プロフィール

劇団回帰線所属。新国立劇場芸術監督でもある宮田慶子氏をはじめ、北海道内外の演出家の作品に出演。ラジオパーソナリティや、切り絵作家の黒川絵里奈さんとの朗読と影絵のイベントなど、声を使った表現も模索し続けている。

SAPPORO ENGEKIJIN NARUMI KOBAYASHI

1985年に役者としてのキャリアをスタートさせ、所属する劇団回帰線ほか多数の客演で存在感を放つ小林なるみさん。近年は映画やダンス作品にも出演し、活動の幅を広げる彼女にお話を伺いました。

——年齢を重ねた役者として、続けることは意識していますか？

はい。自分が20代の頃は同世代の女優さんがたくさん活躍されていたのですが、仕事や結婚などで環境が変わり両立が難しいこともあったのか、30歳を過ぎた辺りで激減したんです。それまで自身の劇団だけで活動していた自分に、外部出演の話が来るようになったのもその頃です。続けているとタイミングの合うときが来るんだなと実感した、最初の出来事でした。

——98年のTPS(現:札幌座)公演『ブルーストッキングの女たち』では主役を務めました。

私にとって一大転機となった公演でした。東京から招かれた演出家の宮田慶子さんに「どこでそんな芝居を覚えてきたんだ」ってコテンパンに叩かれたのですが、後になって「5年後のことを考えての演出だから」と言われて感動して。5年後縁あって宮田さんに自分の演技を覚えてもらった時に「私、変わりましたか？」って聞いたら「変わらんよ」って言われませんでしたと笑。それで「まだまだ」と思いながら続けていたら、今に至るといのが正直なところです。

——映画出演のきっかけは？

30代後半から講師の仕事も増えて、芝居にも出演して2009年以降は人形劇のWSも受講して…と全く休みのない生活を続けていたら、甲状腺癌が見つかって。術後、今は仕事を減らして自分の時間を大事にしようと思った矢先に、オーディション記事を見つけたんです。病気をしていたからしたら時間がなくて諦めていたし、向いてないと思っていた映像の仕事も、何がきっかけで機会が巡ってくるかわからないものだなと思いました。

——活動分野を広げることは刺激になりますか？

最近は演劇の場でも、演出家の要求が映像の演技に近いと感じることもあって面白いです。人形劇も、人形操作の技術を自分の身体に置き換えると発見があります。今後いろいろなことに挑戦して、技術的な引き出しをたくさん持った役者でいたいんです。

——若い世代の役者さんにメッセージをお願いします。

20代、30代の役者さんを見てると、お芝居と仕事、子育てを両立しているし、横のつながりもあって正直うらやましい(笑)。若い世代の人たちが土壌を耕してくれることで、札幌の演劇がさらに豊かになっていけば、私もずっと現役でいたいと思えるので期待しています。

◎次回公演情報 | 影絵と朗読の世界 黒川絵里奈+小林なるみ

○日程：2017年5月28日(日) ※今後も随時開催予定 ○場所：レッドベリースタジオ

[撮影場所] 札幌市教育文化会館